



# 初心忘るべからず 第15期生入学式



記録的な暖かい3月に早々と桜は散ってしまいましたが、枝にはやわらかい新芽がたくさん顔を出しています。4月6日、中高合同の入学式が挙行されました。教室につながる3階のローカには2年生が作ったビッグアートが、そして、3年生が賑やかに飾り付けした教室が新生を迎えました。毎年のことですが、教室では誰一人しゃべる子はおらず、背筋をピンと伸ばして座り、式が始まるのを待つ姿は実に初々しいです。入学式では、土肥校長先生から「初心忘るべからず」

の言葉が贈られ、これから向陽生としての誇りを持つとともに、相手の気持ちを考えて行動することを忘れないでほしいと式辞がありました。そして、新生を代表して東大斗君が「成功も失敗も、喜びも悲しみも、どんなことにも意味を見いだして歩いていきたいと思います。」と力強く宣誓しました。15期生のキャッチフレーズは「チャレンジ15（フィフティーン）」。

今の夢や希望に満ちあふれた新鮮な気持ちをいつまでも忘れずに、何事にも挑戦し続ける15期生であってほしいという想いを込めています。共に学び合い高め合いながら、個性や能力を最大限に伸ばし、80人の仲間とともに成長していくことを願います。



## 新生歓迎会 in 県民文化会館



24日、恒例の中高新生歓迎会が開催されました。県民文化会館という最高の舞台上、文化クラブが日頃の練習の成果を発表する場であり、そのクオリティの高さは「さすが向陽！」です。演劇部の1時間にわたる劇「夏芙蓉」から始まり、バトン部、邦楽部、合唱部、そしてラストは吹奏楽部がキレキレのダンスとともに会場みんなでタオルを振って大いに盛り上がりました。それぞれの舞台上

は高校生に交じって中学生も活躍しています。特に各部の中心となっているのが向陽中出身の環境科学科生です。そんな卒業生の成長を見られるのも中高一貫校の良さです。1年生も改めて「すごい学校に入ったんだなあ」という驚きとともに気持ちを新たにしたいことでしょう。

